

愛の花束通信

第27号

遠妙寺「福祉ボランティア」

愛の花束送迎ご奉公の推進

送迎車とドライバー、ボランティアスタッフの登録を是非とも!

お寺参詣がしたい、でも体力的に困難。動く足さえあれば、是非ともお参詣をさせて頂きたい、と言われる方が結構おられます。

この方々の多くは、かつては、しっかりとお寺参詣やご奉公をされていた方です。ご信者仲間は、この方々の希望を叶えさせてあげたいと胸を痛めている筈です。

旧法区の際に、ある法区長から「実はうちにも対象者がいますが、声かけをして、もし実現しなかったら、がっかりさせると思うと、なかなか声掛けが出来ないんです。」と言っていました。これは大ショックでした。声を大にして参詣を呼びかけていたのに、こちらの手薄は見透かされていて、誠に

面目ない限りでした。

お寺参詣は、自らが自らの為にも功德を積めるご奉公です。その機会が目の前にありながら果たせないのは極めて悲しいことです。

そんな時に手立てがあれば、いつでも勧められるのです。明日はわが身と言うではありませんか。

皆様もご存知の通り、送迎のご奉公は、少しづつですが、既に大会等で実行されていますが、実際の所はご奉公者が足りません。

大会、彼岸会等では、お役務のご奉公と重なってしまい、思うようにはいきません。

お寺参詣をしたいと思う願いを叶えさせて頂く為には、今の二、三倍の自動車とドライバーが必要な訳です。愛の花束専用送迎車購入を含め、これから乗り越えなければならぬ壁も多々あります。菩薩の心でお力添えを頂ければ、互いの幸せも拡がります。

どうか、送迎ボランティアへの積極的なご参加を!

(梅澤繁秋 記)